

未来を切り拓く 心豊かでたくましい 宮崎の人づくり

第二次宮崎県教育振興基本計画
[平成23～32年度]



家庭教育の支援として、「家読(うちどく)運動」、「『家庭教育』ここがポイント」、「親のふり返しシート」等の資料を「みやざき学び応援ネット」に掲載しております。御家庭でぜひ御利用ください。

みやざき学び応援ネット

新生涯学習総合情報提供システム

みやざき学び応援ネット

検索

算数・数学の授業づくりとして、「みやざきスタイルの算数・数学の授業」を「Web学習単元評価システム」の中にある資料室に掲載しております。各学校でぜひ御利用ください。

Web学習
単元評価システム



【問合せ先】
宮崎県教育庁学校政策課 学力・授業力向上担当
TEL 0985-26-7238
FAX 0985-26-0721

みやざき「学びのすすめ」

■■■ 宮崎の子どもたちの学力を伸ばす“ひむか3か条” ■■■

宮崎県教育委員会では、宮崎の子どもたちの確かな学力の定着を目指して、「みやざき『学びのすすめ』～宮崎の子どもたちの学力を伸ばす“ひむか3か条”～」をつくりました。この“ひむか3か条”は、全国学力・学習状況調査の結果等をもとに、子どもたちの学力と日常・学校生活との関わりにおいて、特に関係の深い項目を選び出しています。ここに掲げる取組を契機とし、学校と家庭が一体となって、子どもたちの確かな学力を育てていきましょう。



確かな学力の定着



ひ ととつながる“コミュニケーション”で 学力を伸ばす！

家庭

子どもの目をみて
うなずいて
話すかに
自信をもたせましょう



みやざき犬「ひい」

学校

筋道や根拠を
明確にしなが
ら
書いたり話したりする力を
身に付けさせましょう

む ちゅうになる“読書”で 学力を伸ばす！

家庭

テレビを消して10分間
家読(うちどく：家庭読書)で
本と向き合う時間を
つくりましょう



みやざき犬「むう」

学校

全校読書や調べ学習での
本の活用を通して
語彙力・読解力・想像力を
育てましょう

か くじつな“振り返り”で 学力を伸ばす！

家庭

宿題や復習(振り返りの学習)
ひと目見て ひと声かけて
やる気と自信を
もたせましょう



みやざき犬「かあ」

学校

授業の振り返りを
しっかり行って
確かな学力を
身に付けさせましょう

宮崎県教育委員会

取組のポイント

ひととつながる“コミュニケーション”で学力を伸ばす！



■「自分の考えをよく話す子どもほど、学力が高い！」

自分の考えを表現できるようになると、理解や思考が深まるとともに、学習への意欲が高まります。学校では、教科等の学習において、言語活動の充実を図ることが大切です。また、家庭では、子どもの話にしっかりと耳を傾けたり、家族団らんの時間を設けたりすることが大切です。

【学校では】

- 教科等の学習において、根拠や筋道を明確にしながらかいたり話したりする指導や、先生や友達の話をしっかりと聞く指導の充実を図りましょう。
- 子ども同士がともに高め合う、話し合い・学び合いの場を設定しましょう。

【家庭では】

- 子どもの話に対して、認めたり、ほめたり、励ましたりしましょう。(子どものやる気は、親子の会話から)
- 今日の出来事や最近のニュースなどを話題に家族で話をしましょう。(ニュースへの関心は、子どもの視野を広げます。)



むちゅうになる“読書”で学力を伸ばす！



■「読書好きの子どもほど、学力が高い！」

読書は、語彙力や読解力、想像力を高めます。様々なものの見方や考え方、表現の仕方などを学ぶことができます。学校や家庭において、本に触れる機会を増やし、良い本をたくさん読むことのできる環境をつくるのが大切です。

【学校では】

- 全校読書の時間を設定するなど、じっくりと本と向き合う時間をつくりましょう。
- 学校図書館の“学習・情報センター”としての機能を生かし、教科等の学習でも計画的に学校図書館を活用しましょう。

【家庭では】

- 読書を通して家族のコミュニケーションを図る「家読」(うちどく：家庭読書)に取り組みましょう。(テレビを消して、10分間、家読の時間をつくりましょう。)
- ※ 家族で交代で読んだり、読後の感想を伝え合ったりする方法もあります。



かくじつな“振り返り”で学力を伸ばす！



■「授業の復習をする子どもほど、学力が高い！」

授業の内容を確実に定着させるためには、授業の“振り返り”が重要になります。学校では、授業での子どもの達成状況を的確に把握し、必要に応じて補充指導を行う“見届け”が大切です。また、家庭で、宿題を含め、授業の復習をしっかりと行っていくことが大切です。

【学校では】

- 授業において、学習内容や学び方を振り返る場を設定しましょう。
- 子どもの達成状況を的確に把握し、必要に応じて補充指導を行い、確実な定着を図りましょう。
- 子どもの達成状況等をもとに、授業を振り返り、改善を図っていきましょう。

【家庭では】

- 家庭において、宿題を含め、授業の復習をしっかりと行うようにさせましょう。
- 家庭学習に対して、意欲を引き出す見届けを行いましょう。(頑張っていることを認めたり、ほめたり、励ましたりして、やる気と自信をもたせましょう。)



参考資料

下記のデータは、平成21年度に実施された全国学力・学習状況調査の宮崎県と全国における質問(児童生徒・学校)と調査科目の正答率との関係性をまとめたものです。

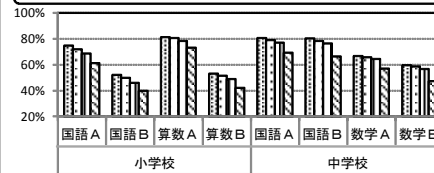
当てはまる ← [] → 当てはまらない

※ 平成22年度以降は、抽出調査のため、悉皆調査として実施した平成21年度の宮崎県データを使用しています。
※ 国語A、算数・数学Aは、「主として知識に関する問題」、国語B、算数・数学Bは、「主として活用に関する問題」です。
※ グラフの%は、正答率を表しています。

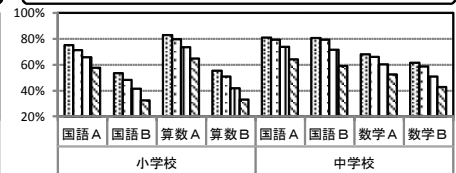


ひととつながる“コミュニケーション”

Q: 家の人と学校での出来事について話をしていますか？



Q: 普段の授業で自分の考えを発表する機会がありますか？



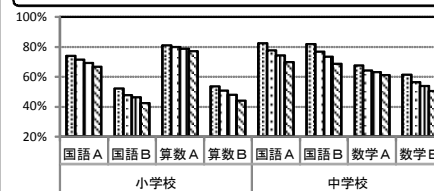
家の人と学校での出来事を話している児童生徒や、授業の中で自分の考えを発表する機会があると答えている児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られます。

また、全国的に、新聞やテレビのニュースに関心がある児童生徒の方が、正答率が高い傾向も見られます。学校においては、児童生徒の様々な考えを引き出している、思考を深めるような発問や指導をしている、児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めているなどといった取組を行っている学校の方が平均正答率が高い傾向も見られます。

むちゅうになる“読書”



Q: 読書は好きですか？

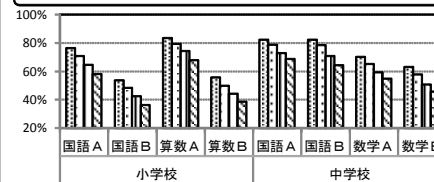


全国的に、小学校では、読書が好きな児童の方が、正答率が高い傾向が見られます。中学校では、読書が好きな生徒の方が、国語の正答率が高い傾向が強く見られます。また、読書が好きと回答している児童生徒の方が、記述式問題の正答率が高い傾向が見られます。さらに、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けている学校の方が、記述式問題の平均正答率が低い傾向が見られます。

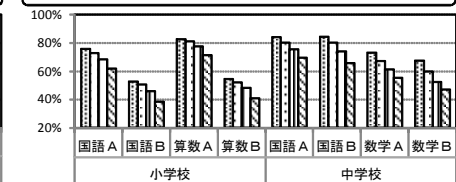


かくじつな“振り返り”

Q: 家で学校の授業の復習をしていますか？



Q: 家でテストで間違えた問題について勉強していますか？



家で学校の復習をしている児童生徒や、テストで間違えた問題について、家で勉強している児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られます。

また、全国的に、家で宿題をしている児童生徒の方が、正答率が高い傾向が強く見られます。学校においては、適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習する等の学習方法を指導している学校の方が平均正答率が高い傾向が見られます。